

(様式第4号)

上田市上下水道審議会 会議概要

1 審議会名	平成28年度(第5期)第5回上田市上下水道審議会
2 日時	平成28年10月14日 午後2時から午後3時30分まで
3 会場	南部終末処理場2階会議室
4 出席者	久保山会長、田中副会長、金井委員、吉川委員、倉沢委員、清水委員、高橋委員、長尾委員、鳴沢委員、本間委員、松本委員、山本委員、若林委員
5 市側出席者	宮澤上下水道局長、城下経営管理課長、滝澤サービス課長、内川上水道課長、松井下水道課長、上原浄水管理センター所長、藤極丸子・武石上下水道課長、矢嶋真田上下水道課長 (以下経営管理課)白鳥課長補佐兼経理担当係長、町田経理担当係長、青井庶務係長、庶務係清水
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年10月17日

協 議 事 項 等

1 開会

2 会長あいさつ

- ・ 8月29日に諮問書をいただいてから審議を重ね、前回の審議会において諮問書のとおり来年度から4年間については、現行の上下水道料金を据え置きたいという内容の答申をしていくことになった。
- ・ 前回の審議会時に出された答申書(案)に対する手直し、疑問点等、また前回審議会後に事務局に提出された意見等について、本日説明があるが、引き続き内容について慎重な審議をお願いしたい。

3 議事

(1) 答申書(案)について

○事務局より資料1、2、3に基づき説明

答申書(案)の2頁「再延長」を「再延期」と訂正する。

・ 委員からの意見・質問なし

(会長)意見等ないようなので、答申書については先ほど事務局から説明のあった部分のみ修正し、このままの内容で答申していきたい。

(事務局)答申書について承認いただきましたので資料3の答申書(案)の(案)を削除していただきたい。  
また、最終的な答申書の提出については、正副会長と相談させていただきお二人に代表して市長へ提出することとしてよろしいですか。

全委員了承

(事務局)答申書の提出の日程につきましては、10月27日の午後を予定しているのでお願いしたい。

(2) 経営戦略について

○事務局より資料4に基づき説明

・ 委員からの意見・質疑応答は以下のとおり。

- (副会長) 経営戦略をまとめていく日程はどのように予定しているのか。
- (事務局) 現在策定中であり、できれば今年中に1回審議会でお示ししたい。議会等の報告もあるので、できれば来年1月と2月の間で2回ほど審議会へ諮っていき全部で3回のなかで協議いただきたい。
- (会長) 10年間の策定の中で、県の水道との合併等の問題は今回もその中に含めて研究していくのか。
- (局長) 県では昨年経営戦略を策定済みである。県の経営戦略の中では広域化を見据えたうえで広域連携を進めていくという内容になっている。平成26年から2年間、それから今年に入って県営水道との関係では広域連携の在り方とか具体的にどのようにしていくか協議をしている段階で、直ぐに広域化するといった現状ではない。
- (会長) 特段ははっきりした目標といったものがない中で状況を見ながらということか。
- (局長) 広域化となると上田市、県水以外にも長野市等あるのでなかなか難しい面がある。事務方で例えばG0というサインを出したところで市民の意見、議会、それぞれの団体の考え方もあり、なかなか最終的に広域化というところまで結びつけることは今の段階では難しいと考える。段階的に進めていくという状況である。
- (副会長) 各市町村との調整のなかで10年間を目途に広域化の検討とかの会議があるのか。そう簡単に広域化していくことは難しいと思われるが、組織を作ってやっていく考えはあるのか。
- (局長) 県水との絡みでいくと長野市、千曲市、坂城町、上田市、県営水道といったなかで、水道運営協議会ということで共同化、効率化等できるところがないか検討の会議は設けている。また、県が水道ビジョンを今年度中策定に向けて進めており、そのなかで厚生労働省の方から全国的に見ると広域化ということがお題目に入っているので、県内10圏域の広域化について水道ビジョンに盛り込もうとしている。県内の市町村の意見をみても直ぐに広域化ということはなかなか難しいという状況。その前段階として今県水とやっているようなお互いにもまず理解しあうといったことをやっている。県の方では上小圏域の中でも県水以外の市町村での広域化という最終目標を導いていきたいという考えはあるが、直ぐにどうこうするといった内容には県内77市町村の意見を聞いた中では難しいといった状況にある。全国的には香川県のように全県ひとつの広域化を進めているところもある。これには地理的条件とかもあり、長野県は特に山間部が多く全県一帯を広域化したとしても水源等の問題で効率的な運用はできないと県でも認識している。広域化するといったことは将来の目標値としては設定するが、具体的には踏み込んだ内容には持って行かれない状況にある。

#### 4 その他

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり。

- (委員) 水道等の工事現場や工事業者の管理をしてもらいたい。
- (事務局) 業者の方にも適切な指示を行っているが、資質もあり違ってしまうことがある。今年度も業者を集めて講習会も実施し説明をしているが、局でも現場を見るにあたってさらに気をつけ取り組んでいきたい。
- (委員) 砥石米山城のイベントの時に給水車で水が運ばれてきているが、そこには飲料できませんと張り紙がされている。何のためにきているのか。
- (事務局) 実行委員会から給水車の貸し出しの要請がきて貸し出ししている。使用する水については給水車に対応したものを実行委員会に入れてもらっていると思っている。詳細については確認します。

#### 5 閉会

審議会終了後、南部終末処理場を見学

以上